



国際物流総合展2024 ダイフクブースの様子

第109期
中間

株主通信

2024年4月1日～2024年9月30日

売上・利益ともに中間連結会計期間として過去最高 増配と自社株買いを実施



代表取締役社長

下代 博

当中間連結会計期間における世界の経済は、中国経済の低迷や米国経済の減速懸念に伴う下振れリスクはあったものの、総じて順調に推移しました。

事業環境としては、日本における物流関連投資が回復基調にあります。半導体産業では、中国におけるレガシー半導体投資が高水準で継続すると同時に、AI向け半導体の需要増加に伴い一部先端半導体投資が回復基調にあります。また、半導体後工程における自動化投資も顕在化してきました。自動車産業では、xEV（BEV、HEV、PHEV、FCEVなど電動車の総称）投資が高水準で継続しています。航空旅客数の回復に伴い空港における自動化投資も伸長しています。

このような経済・事業環境の下、当中間連結会計期間の受注は、北米における空港向けシステムが大きく伸長したほか、一般製造業・流通業、半導体生産ライン、自動車生産ライン向けシステムは順調に推移し、前年同期を上回りました。

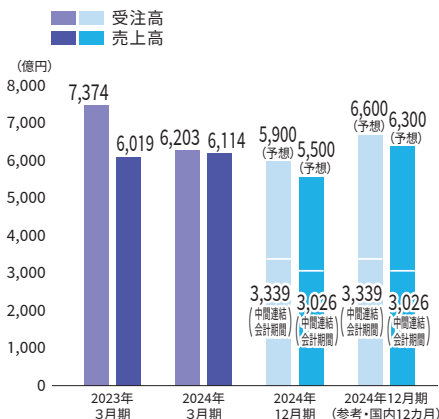
売上は、豊富な前期末受注残高をベースに一般製造業・流通業、半導体生産ライン、空港向けシステムは増収となりました。

この結果、受注高は3,339億22百万円（前年同期比13.5%増）、売上高は3,026億21百万円（同7.6%増）となりました。

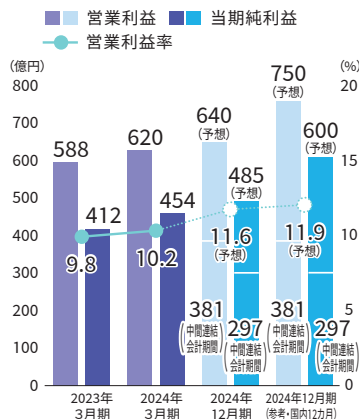
利益面は、原材料・人件費高騰に伴うコスト増加分の価格転嫁等が進展し、一般製造業・流通業、半導体生産ライン、自動車生産ライン、空港向けシステムとも利益率が改善しました。

財務ハイライト

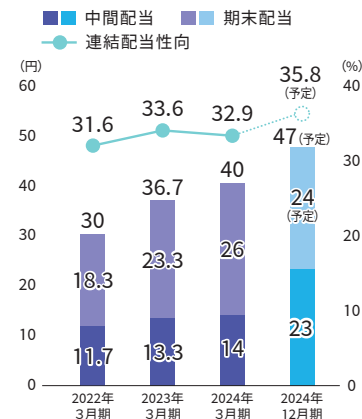
▶ 受注高・売上高



▶ 営業利益・営業利益率 当期純利益



▶ 配当の推移



(注) 1. 決算期の変更に伴い、2024年12月期は9カ月の変則決算となります。2024年12月期(予想)は国内9カ月間・海外12カ月間、2024年12月期(参考・国内12カ月)は、前期比較のための参考情報として、国内の2025年1～3月予想を合算した国内12カ月間、海外12カ月間で算出しています。
2. 2023年3月期以前の配当額は、株式分割(2023年4月1日、1株▶3株)からさかのぼって便宜的に計算したものです。

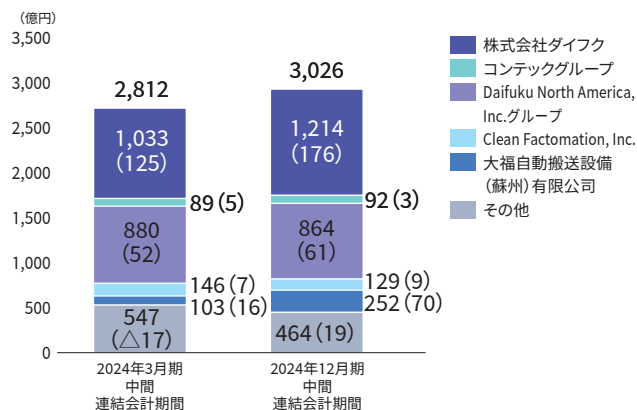
この結果、営業利益は381億44百万円(同100.1%増)、経常利益は381億86百万円(同83.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は297億12百万円(同109.2%増)となりました。

なお、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも中間連結会計期間としては過去最高です。さらに、通期業績予想も上方修正しました。

このため、2024年12月期の配当金につきましては、中間配当を3円増配の23円とすることを決定し、期末配当予想についても4円増配の24円とし、年間配当は47円となる予定です。100億円を上限とする自社株買いも実施します。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

▶ セグメント別売上高・純利益

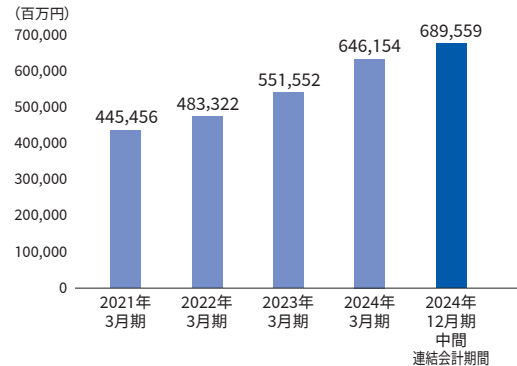


※ () 内は純利益。売上高の総額は連結調整後の数値です。

総資産

6,895億59百万円

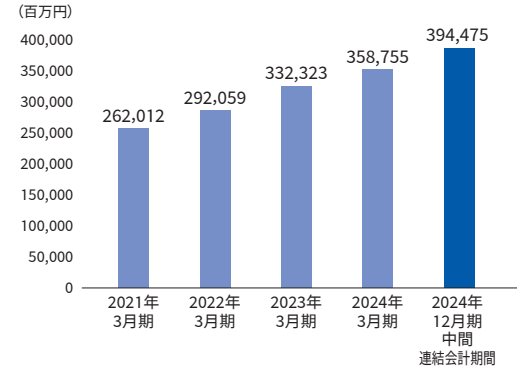
現金及び預金、有形固定資産などが増加



純資産

3,944億75百万円

利益剰余金と為替換算調整勘定が増加



▶ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年 3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年 9月30日)
資産の部		
流動資産	496,426	529,887
固定資産	149,728	159,672
有形固定資産	77,451	83,791
無形固定資産	12,128	12,538
投資その他の資産	60,148	63,341
資産合計	646,154	689,559
負債の部		
流動負債	211,392	217,715
固定負債	76,007	77,368
負債合計	287,399	295,084
純資産の部		
株主資本	319,723	339,929
資本金	31,865	31,865
資本剰余金	20,490	20,490
利益剰余金	288,311	308,373
自己株式	△ 20,944	△ 20,799
その他の包括利益累計額	38,688	54,125
その他有価証券評価差額金	7,874	5,804
繰延ヘッジ損益	△ 145	13
為替換算調整勘定	28,519	46,104
退職給付に係る調整累計額	2,440	2,203
非支配株主持分	342	419
純資産合計	358,755	394,475
負債純資産合計	646,154	689,559

▶ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)
売上高	281,267	302,621
売上原価	235,328	234,565
売上総利益	45,938	68,055
販売費及び一般管理費	26,878	29,910
営業利益	19,060	38,144
営業外収益	2,084	2,022
営業外費用	306	1,981
経常利益	20,838	38,186
特別利益	198	1,101
特別損失	734	740
税金等調整前中間純利益	20,302	38,547
法人税、住民税及び事業税	9,742	13,395
法人税等調整額	△ 3,645	△ 4,603
法人税等合計	6,096	8,792
中間純利益	14,205	29,755
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	14,206	29,712
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△ 0	42

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

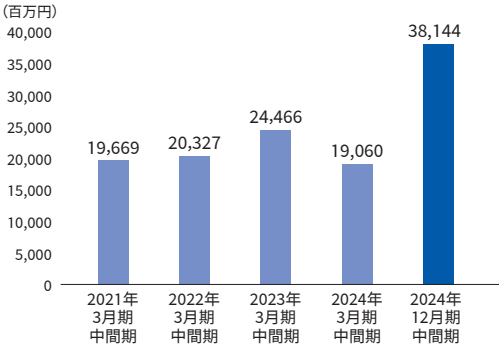
(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,419	68,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,295	676
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,347	△ 16,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,038	9,260
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	26,510	60,999
現金及び現金同等物の期首残高	102,389	136,445
現金及び現金同等物の中間期末残高	128,899	197,445

営業利益

381億44百万円

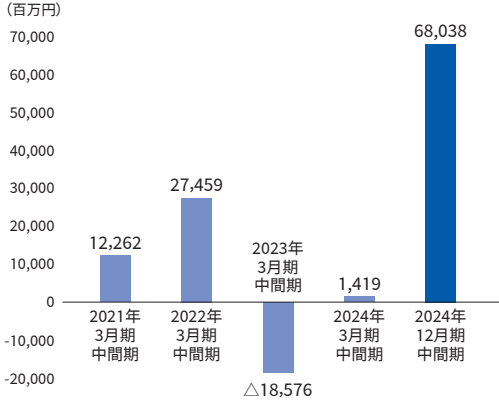
原材料・人件費高騰に伴うコスト増加分の価格転嫁の進展が大きく寄与



営業活動によるキャッシュ・フロー

680億38百万円

税金等調整前中間純利益が増加し、売上債権及び契約資産が減少





国際物流総合展2024 最新システムをご紹介

2024年9月、アジア最大級のマテハン・ロジスティクス総合展示会「国際物流総合展2024」に出展しました。同展は「持続可能な道、物流の明日を育む」がテーマで、過去最多となる580の企業・団体が出展しました。当社ブースへは4日間で1万名以上が訪れ、大盛況でした。

メインステージにおいて最新の3D映像システムを使用したプレゼンテーションを実施しました。「Automation of Tomorrow」をテーマに、ダイフクが思い描く“少し先”の自動化ソリューションを紹介しました。

ステージサイドでは、3D映像にも登場した製品の実機展示を行い、さまざまな業界で最新のお客さまニーズに応える製品を紹介しました。

一般製造業・流通業向けシステム

物流センターなどの完全自動化に向けた搬送ロボットの新製品として、「ソーティングトランスファーロボット (SOTR)」シリーズ (S・M・L) の実機展示を行いました。

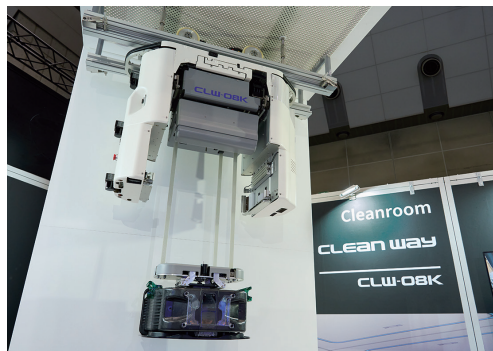
ピース仕分けシステムの「SOTR-S」は、毎分180mの高速で走行し、ロボット上面のトレイが傾斜することで、商品を各シュートに仕分けします。トレイは左右両側に傾けることができるため、コンパクトかつ高能力なシステムの構築が可能です。



ピース仕分けシステム「SOTR-S」

半導体生産ライン向けシステム

半導体のさらなる性能向上を目的とした、半導体製造の後工程の複雑化・多様化に伴い、保管・搬送の自動化ニーズが高まっています。FOUP（フープ）と呼ばれる単一の容器を搬送する前工程とは異なり、後工程では大小さまざまなモノの搬送が求められます。そのため、幅広い荷姿・重量に対応できる搬送システムを開発しました。



半導体後工程向け搬送システム「クリーンウェイ」

自動車生産ライン向けシステム

ガソリン車と比較して重量のあるxEV[※]生産ライン向けの重量級AGV（無人搬送車）を開発しました。可搬重量は従来製品の約2倍となる6トン超を実現しつつ、既存工場にも導入しやすいコンパクトな形状であることが特長です。

EVやハイブリッド、ガソリン車といった多品種生産が見込まれる中、フロアを自由自在に動きまわりながら工程間を移動する「自走する生産ライン」として、柔軟に工程を変更できる工場を提案します。

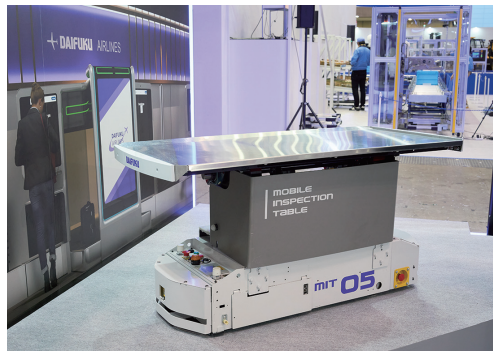
※ BEV、HEV、PHEV、FCEVなどの総称



自動車生産ライン向けAGV「TRVS（トラヴィス）」

空港向けシステム

無人搬送車式手荷物検査台「MIT」は、空港でのセキュリティチェックで再検査が必要となった手荷物を搬送するロボットで、そのまま検査台としても利用できるものです。従来の運用で発生していた、コンベヤから検査台への手荷物の移載といった重労働作業を解消できます。現在、米国の10の空港で500台以上が稼働しています。



無人搬送車式手荷物検査台「MIT」

滋賀事業所の大規模再編が本格始動

2024年4月、マザー工場である滋賀事業所で新工場棟2棟の起工式を行い、2028年までを目途とした大規模再編が本格的にスタートしました。当社グループの長期的な成長に向けて、さらに生産性を高め、効率的にモノづくりを行うことを目的としています。

滋賀事業所では2006年に工場棟2棟が完成して以来、18年ぶりとなる大規模な工事となります。この再編により、同事業所の生産能力を1.4倍に拡大させるとともに、外部倉庫の利用を解消することによる物流の効率化や、保管・業務効率の改善、老朽化した設備の改修によるBCP（事業継続計画）対応などを進めます。

新工場棟2棟では、イントラロジスティクス事業およびクリーンルーム事業の生産・組立・保管などを行う予定です。両棟とも屋上に太陽光発電システムを設置します。



新棟2棟の完成予想図



第15回 株主さま向け「日に新た館」見学会を開催

2024年10月17日・18日に、「日に新た館」見学会を実施し、2日間合わせて104名にご来館いただきました。

社長の下代より当社の長期ビジョン・中期経営計画、事業概況などを説明した後、館内の展示製品を案内しました。

質疑応答セッションでは、株主さまから多くの質問をいただき、活発な対話が行われました。



▶ 初開催となるSEMICON India 2024に出展

2024年9月、クリーンルーム事業部がインド・デリー近郊で開催された「SEMICON India 2024」に出展しました。米国の業界団体「SEMI」の主催によりインドで初めて開催された展示会で、開幕式典にはインドのモディ首相も出席しました。

当社ブースではVR映像を用いてクリーンルーム内でビークル（搬送台車）が搬送する様子を体感できるコーナーを設置したほか、映像コンテンツやタッチスクリーンを通じて、半導体生産ライン向け搬送・保管システムをアピールしました。

近年、半導体工場がなかった地域での半導体国内生産需要が高まっており、半導体トップメーカーによるインドへの投資が話題となっています。当社は、今後も展示会への出展などを通じて認知度の向上を図り、新たな市場への挑戦を続けます。



当社ブースの様子

▶ 100億円を上限とする自己株式取得を実施

当社グループの業績は、原材料・人件費高騰に伴うコスト増加分の価格転嫁等の進展により収益性が改善し、当初の計画を上回る利益見通しとなりました。このため、さらなる資本効率の向上、株主還元の拡充、および株式数削減を通じた1株当たり株式価値の上昇を目的として、自己株式の取得を決定しました。

具体的には、2024年11月11日から12月31日までを取得期間として、総額100億円、あるいは取得する株式総数500万株を上限として、東京証券取引所で市場買い付けを行うものです。

これにより、株主還元度を示す「総還元性向」（配当金額と自己株式取得価額の合計を当期純利益の予想額で割ったもの）は56.3%となる見込みです。

当社は株主の皆さまに対する利益還元を最重要事項と位置付け、今後もさらなる株主還元の拡充に取り組めます。

詳細はウェブサイトをご覧ください



社是 Company Creed



今日の「われ」は
昨日の「われ」にあらず
明日の「われ」は
今日の「われ」にとどまるべからず

Today we are doing better
than we were yesterday.
Tomorrow we will be growing
ahead of where we are today.

経営理念 Management Philosophy

モノを動かし、心を動かす。
Automation that Inspires

会社概要 (2024年9月30日現在)

商号	株式会社ダイフク (Daifuku Co., Ltd.)
設立	1937年5月20日
資本金	318億6,530万円
代表者	代表取締役社長 下代 博
従業員数	10,958人(グループ総数)
主要拠点	本社 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11 TEL：06-6472-1261 (代)
	東京本社 〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング TEL：03-6721-3501 (代)
	滋賀事業所 〒529-1692 滋賀県蒲生郡日野町中在寺1225 TEL：0748-53-0321 (代)
	小牧事業所 〒485-8653 愛知県小牧市小牧原4-103 TEL：0568-74-1500 (代)
支店	北海道、東北、新潟、北関東、東京、藤沢、静岡、名古屋、東海、北陸、大阪、中国、九州
海外	支店や現地法人を24の国と地域に展開しています。

役員一覧 (2024年9月30日現在)

代表取締役社長	下代 博
取締役専務執行役員	佐藤 誠治
取締役常務執行役員	信田 浩志
取締役常務執行役員	田久保 秀明
取締役常務執行役員	寺井 友章
社外取締役	小澤 義昭
社外取締役	酒井 峰夫
社外取締役	加藤 格
社外取締役	金子 圭子
社外取締役	ギディオ・フランクリン
常勤監査役	齊藤 司
社外監査役	宮島 司
社外監査役	和田 信雄
社外監査役	箱田 英子
専務執行役員	三品 康久
常務執行役員	上本 貴也
常務執行役員	権藤 卓也
常務執行役員	西村 章彦
常務執行役員	鳥谷 則仁
常務執行役員	日比 徹也
執行役員	喜多 浩明
執行役員	山本 誠二
執行役員	前田 勉
執行役員	園田 篤
執行役員	秋葉 博文
執行役員	井筒 正幸
執行役員	田中 崇文
執行役員	矢野 準二
執行役員	西山 和良
監査役員	高橋 利勝

株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	750,000,000株
発行済株式総数	379,830,231株
株主数	37,970名

※株主数は前期末に比べ、7,369名増加しました。

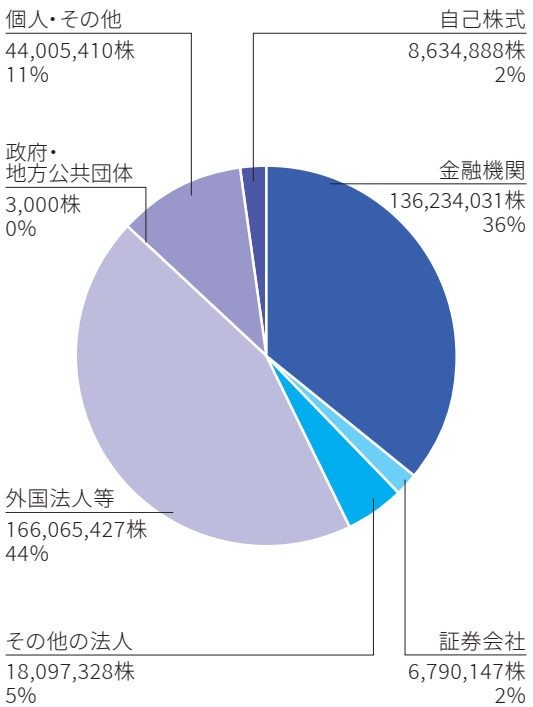
第109期 中間配当金のお支払いについて

第109期中間配当金は、2024年11月8日開催の取締役会において、1株につき23円と決議しています。同封の「第109期中間配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局（銀行代理業者）で払渡期間内（2024年12月5日から2025年1月9日まで）にお受け取りください。

なお、振込先をご指定の方には「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしますので、ご確認くださいようお願い申し上げます。

また、株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関（証券会社等）へお問い合わせください。

所有者別株式分布状況 (2024年9月30日現在)



決算期の変更

海外連結子会社と決算月を統一することで、グローバルな事業運営の効率化および経営情報の適時・的確な開示により経営の透明性の向上を図るため、以下の通り決算期を変更することといたしました。

現在：毎年 3月31日	決算期変更の経過期間となる第109期は、2024年4月1日から2024年12月31日までの9カ月決算となる予定です。また、配当の基準日および予定配当額は、下図の通りです。
変更後：毎年12月31日	

2024年			2025年			
4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
109期			110期			
▲			▲			▲
109期中間配当 23円 基準日：9月30日			109期期末配当 24円(予定) 基準日：12月31日			110期中間配当 基準日：6月30日
						110期期末配当 基準日：12月31日

▶ 株主メモ

ご 案 内 当社は、第109期より事業年度を「毎年4月1日から翌年3月31日まで」から「毎年1月1日から12月31日まで」に変更しました。これに伴い、事業年度、定時株主総会、基準日も変更となっています。

事 業 年 度 毎年1月1日から12月31日まで
※第109期は2024年4月1日から12月31日までの9カ月間

定 時 株 主 総 会 3月開催

基 準 日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当金 毎年12月31日
中間配当金 毎年6月30日
※第109期中間配当基準日は2024年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公 告 の 方 法 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は日本経済新聞に掲載します。
公告掲載の当社ホームページアドレス
www.daifuku.com/jp/ir/stock/notice

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所プライム市場
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜4-5-33
事 務 取 扱 場 所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

【書面交付請求について】

電子提供制度の適用により、「株主総会招集ご通知」の書面での提供を希望される株主さまは、株主総会の基準日（次回2025年3月開催予定の定時株主総会におきましては2024年12月31日）までに「書面交付請求」をしていただく必要がございます。

ご請求は以下お問い合わせ先までお願いいたします。

お問い合わせ先

ダイフク株式を所有されている証券会社または
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
書面交付請求専用コールセンター ☎0120-533-600
受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日、12/31～1/3を除く）
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisayahou>

（郵便物送付先） 〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先） ☎0120-782-031
受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日、12/31～1/3を除く）

（ホームページURL）
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>

株式に関する手続き・よくあるご質問はこちら



統合報告書発行のお知らせ

2024年10月、統合報告書「ダイフクレポート2024」を発行しました。詳細は当社ウェブサイト、またはQRコードよりご覧ください。



【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用がない株主さまは、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます）を開設しています。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。